

***1987～1988の東京天文台時代のスライドファイルを収蔵**

このスライドファイルは、東京天文台がパンフレット作製のために写真撮影を依頼したものらしい。2011年9月7日に出版係からアーカイブ室に手に渡った。撮影日時は1987年11月～1988年1月とあり、撮影者は太田原明氏、撮影協力：誠文堂新光社月刊天文とある。もはや国立天文台三鷹キャンパスに存在しないばかりかこの世に存在しない望遠鏡もある。三鷹キャンパスに存在していてもすでに現役を退いていて活動中の望遠鏡は1台もない過去の記録になってしまっている。このファイルには65枚のスライドがある。



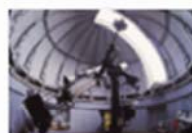
6mミリ波望遠鏡



6mミリ波望遠鏡
2



20cm望遠鏡



20cm望遠鏡 2



20cm望遠鏡ドーム



30cm卯酉儀



30cm卯酉儀 2



30cm卯酉儀ドーム



30cm望遠鏡 (佐藤)



30cm望遠鏡 (佐藤) 2



30cm望遠鏡 (佐藤) ドーム



65cm望遠鏡



65cm望遠鏡 2



65cm望遠鏡 3



65cm望遠鏡 4



65cm望遠鏡 5



65cm望遠鏡ドーム



65cm望遠鏡ドーム 2



PMC



PMC観測棟

これらの望遠鏡の内、30cm 卯酉儀望遠鏡は筆者が若い頃、晴れてさえいれば正月、盆、暮、日曜、土曜、休日と云わず観測に明け暮れた懐かしい望遠鏡であるが、この望遠鏡は鏡筒しか残っていない。それでも主鏡、副鏡は無事である。



この写真の中にある建物の中にはすでに取り壊され存在しないものとして、本館(2)と言われ分光部が入っていて、最後は日本天文学会事務所として使われた建物、ブラッシャー天体写真儀室、連合子午儀室、モノクロ(太陽単色写真儀室)、オバケ(太陽分光写真儀室)などその存在すら知らない人たちも多いだろうことに驚きを禁じ得ない。



ブラッシャー天体写真儀室、モノクロ、オバケ、30cm 望遠鏡(佐藤)のあった場所は、1988年国立天文台発足時に東京大学用地として渡されたところであり、残っている建物は 30cm 望遠鏡(佐藤)のドームのみである。当時の貴重な記録写真としてアーカイブ室の收藏品としておく。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp